

**炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られる高分子化合物**（発酵または酵素を使用して所望の化学物質もしくは組成物を合成する方法またはラセミ混合物から光学異性体を分離する方法 C12P） [2]

注

(1) 化合物の治療活性は、サブクラス A61P にさらに分類する。[7]

(2) このサブクラスのそれぞれのメイングループにおいては、グループ C08G18/00 が他のグループに優先する。もし重合体が適切なグループに分類される特定の結合を形成する反応によって得られる場合は、さらに分類を付与する。[2]

(3) このサブクラスではラストプレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り、最後の適切な箇所に分類する。[2]

(4) このサブクラスは、このサブクラスに分類しうる高分子化合物を形成する単量体に基づく組成物も包含する。[7]

このサブクラスにおいては:[7]

(a) 単量体が定義されているなら、形成される重合体に従ってグループ C08G2/00-C08G79/00, C08G83/00 に分類する; [7]

(b) 単量体は定義されているが、組成物がこのサブクラスの 1 つのメイングループ内に分類できない場合は、その組成物はグループ C08G85/00 に分類する; [7]

(c) 配合成分自体が重要である場合は、サブクラス C08K にも分類する。[7]

サブクラス内の索引

アルデヒドまたはケトンから得られる高分子化合物 2/00-16/00.....

ポリアセタール 2/00, 4/00.....

イソシアネートまたはイソチオシアネートから得られる高分子化合物 18/00.....

エポキシ樹脂 59/00.....

主鎖に連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 61/00-79/00.....

炭素—炭素連結基 61/00.....

酸素を含む連鎖 63/00-67/00.....

窒素を含む連鎖 69/00-73/00.....

いおうを含む連鎖 75/00.....

けい素を含む連鎖 77/00.....

炭素, 酸素, 窒素, いおう, またはけい素以外の原子を含む連結基 79/00.....

単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物 81/00.....

その他の高分子化合物 83/00.....

一般的方法 85/00.....

2/00 アルデヒドまたはその環状オリゴマーのまたはケトンの付加重合体: それらと 50 モル%未満の他の物質との付加共重合体 [2]

2/02 ・波動エネルギーまたは粒子線により開始される重合 [2]

|      |  |
|------|--|
| 2/04 | ・分子量に影響する化合物を用いることによる重合, 例. 連鎖移動剤 [2]  |
| 2/06 | ・触媒 [2]  |
| 2/08 | ・ホルムアルデヒドの重合 [2]   |
| 2/10 | ・ホルムアルデヒドの環状オリゴマーの重合 [2]   |
| 2/12 | ・アセトアルデヒドまたはその環状オリゴマーの重合 [2]   |
| 2/14 | ・グループ C08G2/08-C08G2/12 に分類されないアルデヒド単独の重合 [2]  |
| 2/16 | ・ケトン単独の重合 [2]  |
| 2/18 | ・アルデヒドまたはケトンの共重合 [2]   |
| 2/20 | ・他のアルデヒドまたはケトンとの [2]   |
| 2/22 | ・エポキシ化合物との [2]   |
| 2/24 | ・アセタールとの [2]   |
| 2/26 | ・炭素—炭素不飽和を含む化合物との [2]  |
| 2/28 | ・重合後の処理 [2]  |
| 2/30 | ・後処理による化学的変性 [2]   |
| 2/32 | ・エステル化によるもの [2]  |
| 2/34 | ・エーテル化によるもの [2]  |
| 2/36 | ・解重合によるもの [2]  |
| 2/38 | ・高分子化合物にアルデヒドまたはケトンを重合することによりつくられたブロックまたはグラフト重合体 [2]   |
| 4/00 | アルデヒドまたはケトンのポリアルコールとの重縮合体; 環中に少くとも一回—O—C—O—基が現われるような複素環式酸素化合物の付加重合体 (アルデヒドの環状オリゴマーの付加重合体 C08G2/00) [2] |
| 6/00 | アルデヒドまたはケトンのみの重縮合体 [2]   |
| 6/02 | ・アルデヒドのケトンとの [2]   |
| 8/00 | アルデヒドまたはケトンのフェノールのみとの重縮合体 [2]  |
| A    | 重合方法   |
| B    | ・段階方法  |
| C    | ・配合剤の存在下における重合   |
| D    | ・粉末化、粒状化   |
| E    | ・重合触媒  |
| F    | 重合後の処理   |
| G    | 重合装置   |
| H    | アルデヒド又はケトンの混合物からの  |
| J    | アルデヒドと 8/14-8/18 に含まれない C, H, O 以外の異種原子含有フェノールからの  |
| Z    | その他  |
| 8/02 | ・ケトンの [2]  |
| 8/04 | ・アルデヒドの [2]  |
| 8/06 | ・フルフラールの [2]   |
| 8/08 | ・ホルムアルデヒドの, 例. その場で形成されたホルムアルデヒドの [2]  |
| 8/10 | ・フェノール (石炭酸) との [2]  |
| 8/12 | ・ただ一個の炭化水素置換基を OH 基に   |

|       |  |        |   |
|-------|--|--------|---|
|       | 対してオルソまたはパラ位置に有する一価フェノールとの, 例. p-第三ブチルフェノール[2]                       | 12/18  | ・・・シアナミドとの[2]   |
| 8/14  | ・・・ハロゲン化フェノールとの[2]   | 12/20  | ・・・ウレタンまたはチオウレタンとの[2]   |
| 8/16  | ・・・アミノーまたはニトロフェノールとの[2]  | 12/22  | ・・・カルボン酸アミドとの[2]  |
| 8/18  | ・・・カルボン酸またはスルホン酸基で置換されたフェノールとの[2]                                    | 12/24  | ・・・スルホン酸アミドとの[2]  |
| 8/20  | ・・・多価フェノールとの[2]  | 12/26  | ・・・複素環式化合物との[2]   |
| A     | リグニン   | 12/28  | ・・・置換ジアジン, ジアゾールまたはトリアゾールとの[2]  |
| B     | 高分子量フェノール化合物   | 12/30  | ・・・置換トリアジンとの[2]   |
| Z     | その他  | 12/32  | ・・・メラミン[2]  |
| 8/22  | ・・・レゾルシノール[2]  | 12/34  | ・・・複素環式化合物と非環式または炭素環式化合物との[2]   |
| 8/24  | ・・・グループ C08G8/10-C08G8/20 のうちの 1 つのみには属さない 2 種またはそれ以上のフェノールの混合物との[2] | 12/36  | ・・・尿素;チオ尿素[2]   |
| 8/26  | ・・・アルデヒドとケトンの混合物からの[2]   | 12/38  | ・・・およびメラミン[2]   |
| 8/28  | ・・・化学的に変性された重縮合物[2]  | 12/40  | ・・・化学的に変性された重縮合物[2]   |
| A     | N 原子含有化合物によるもの   | 12/42  | ・・・エーテル化によるもの[2]  |
| B     | C, H, O 以外の原子含有化合物によるもの  | 12/44  | ・・・エステル化によるもの[2]  |
| Z     | その他  | 12/46  | ・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン   |
| 8/30  | ・・・不飽和化合物によるもの, 例. テルペン[2]   | 14/00  | を重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体[2]   |
| 8/32  | ・・・有機酸またはその誘導体によるもの, 例. 脂肪油[2]                                       |        | アルデヒドまたはケトンの, グループ C08G8/00-C08G12/00 の少くとも 2 つに属する 2 種またはそれ以上の他の単量体との重縮合体[2] |
| 8/34  | ・・・天然樹脂または樹脂酸によるもの, 例. ロジン[2]  | 14/02  | ・・・アルデヒドの[2]  |
| 8/36  | ・・・エーテル化によるもの[2]   | 14/04  | ・・・フェノールとの[2]   |
| 8/38  | ・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン  | 14/06  | ・・・フェノールおよび窒素に結合した水を  |
| 10/00 | を重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体[2]                                    |        | を含む単量体との[2]   |
| 10/02 | ・・・アルデヒドまたはケトンの芳香族炭化水素   | 14/067 | ・・・非環状または炭素環状単量体[5]   |
| 10/04 | またはハロゲン化芳香族炭化水素のみとの重縮合体[2]   | 14/073 | ・・・アミン[5]   |
| 10/06 | ・・・アルデヒドの[2]   | 14/08  | ・・・尿素;チオ尿素[2, 5]  |
| 12/00 | ・・・化学的に変性された重縮合物[2]  | 14/09  | ・・・複素環単量体[5]  |
| 12/02 | ・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン  | 14/10  | ・・・メラミン[2, 5]   |
| 12/04 | を重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体[2]                                    | 14/12  | ・・・化学的に変性された重縮合物[2]   |
| 12/06 | ・・・アルデヒドまたはケトンの, 窒素に結合した水素を有する化合物のみとの重縮合体                            | 14/14  | ・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン   |
| 12/08 | (アミノフェノール C08G8/16) [2]  | 16/00  | を重縮合することによりつくられるブロックまたはグラフト重合体[2]   |
| 12/10 | ・・・アルデヒドの[2]   | 16/02  | ・・・アルデヒドの[2]  |
| 12/12 | ・・・非環式または炭素環式化合物との[2]  | 16/04  | ・・・化学的に変性された重縮合物[2]   |
| 12/14 | ・・・アミン[2]  | 16/06  | ・・・高分子化合物にアルデヒドまたはケトン   |
| 12/16 | ・・・芳香族[2]  | 18/00  | を重縮合することによりつくられたブロックまたはグラフト重合体[2]   |
|       | ・・・X=C (—N<) <sub>2</sub> (X は O, S または N—) なる構造を有する非環式化合物との[2]      |        | イソシアネートまたはイソチオシアネートの重合生成物[2]  |
|       | ・・・尿素;チオ尿素[2]  | A      | 粒状物の製造  |
|       | ・・・ジシアンジアミド;ジシアンジアミン;グアニジン;ピグアニド;ビューレット;セミカルバジド[2]                   | B      | 溶液, エマルジョンの製造   |
|       | ・・・ジシアンジアミド[2]   | C      | ・・・水溶液, 水性分散液   |
|       |  | D      | 重合装置  |
|       |  | F      | 発泡体の製造  |
|       |  | G      | ・・・気泡安定剤, 整泡剤   |
|       |  | H      | ・・・発泡剤  |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| J  | ・配合剤  |   | 初の反応段階における反応を伴うプレポリマー法[2]                                   |
| K  | ・・無機化合物   |   |   |
| L  | ・・有機化合物   | 18/12                                   | ・・・・第一重合段階において活性水素を有する 2 またはそれ以上の化合物を用いるもの[2]               |
| M  | ・スキン付発泡体の製造   |   |   |
| Z  | その他   |   |   |
| 030  | ・活性水素を持たないエポキシ化合物との (活性水素を持つエポキシ樹脂とのもの C08G18/58)                                       | 18/16                                   | ・・・触媒[2]  |
| 060  | ・アルデヒドとの  | 18/18                                   | ・・・・第二または第三アミンまたはそれらの塩を含むもの[2]                              |
| <b>注</b>   |   | 18/20                                   | ・・・・・複素環式アミン;その塩[2]   |
| このグループにおいては, グループ 101/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[5] |   | 18/22                                   | ・・・・・金属化合物を含むもの[2]  |
| 18/02  | ・イソシアネートまたはイソチオシアネートのみの[2]  | 18/24                                   | ・・・・・すず化合物[2]   |
| 020  | ・・イソシアヌレート基を含有する重合生成物   | 18/26                                   | ・・・・・鉛化合物[2]  |
| 050  | ・・カルボジイミド基を含有する重合生成物  | 18/28                                   | ・・活性水素含有使用化合物に特徴のあるもの[2]                                    |
| 070  | ・・ウレトジオン基を含有する重合生成物   | 005                                     | ・・・活性水素を含有するただひとつの基を持つ化合物 (活性水素を含有する末端基を持つビニル重合体 C08G18/62) |
| 18/04  | ・ビニル化合物との[2]  | 010                                     | ・・・・・モノカルボン酸化合物   |
| 18/06  | ・活性水素を有する化合物との[2]   | 015                                     | ・・・・・モノヒドロキシ化合物   |
| 18/08  | ・・方法[2]   | 050                                     | ・・・・・窒素含有化合物  |
| 004  | ・・・イオン性基またはイオン類似基を含有する重合体の製造  | 065                                     | ・・・・・ただ 1 個の一級または二級アミノ基を持つ化合物;アンモニア                         |
| 009  | ・・・・カチオン性基またはカチオン類似基を含有するもの   | 075                                     | ・・・・・三級アミノ基を含有するモノヒドロキシ化合物                                  |
| 019  | ・・・・アニオン性基またはアニオン類似基を含有するもの   | 080                                     | ・・・・・酸素または窒素以外の少なくとも 1 個の異種原子を含有する化合物                       |
| 033  | ・・・・カチオン性基またはカチオン類似基とアニオン性基またはアニオン類似基をともに含有するもの   | 085                                     | ・・・・・ハロゲン原子を含有するもの  |
| 038  | ・・・非反応性化合物の存在下での重合体の製造 (組成物の製造 C08L75/00)   | 090                                     | ・・・・・けい素を含有するもの   |
| 042  | ・・・・液体希釈剤の存在下で (C08G18/08 004 が優先)  | 095                                     | ・・・・・活性メチレン基を含有する化合物  |
| 080  | ・・・反応混合物または反応成分からの水または二酸化炭素の除去  | <b>注</b>                                |   |
| 085  | ・・・・添加剤を使用するもの, 例. 吸着剤  | ・・このグループにおいて, 発泡体材料製造のための水の添加は考慮しない。[2] |   |
| 090  | ・・・反応遅延化剤   | 18/30                                   | ・・・低分子量化合物[2]   |
| 095  | ・・・連続法による重合体の製造 (C08G18/08 038 が優先)   | 020                                     | ・・・・水   |
| 18/09  | ・・・イソシアネート基あるいはイソチオシアネート基の一部が反応混合物の中で起こす相互反応を伴う, イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションを含むもの[7] | 050                                     | ・・・・・末端アミノ基の形成  |
| 020  | ・・・・イソシアヌレート基へのオリゴマー化   | 070                                     | ・・・・・大気中の湿分   |
| 050  | ・・・・カルボジイミド基またはウレトイミン基へのオリゴマー化  | 18/32                                   | ・・・・・ポリヒドロキシ化合物;ポリアミン;ヒドロキシアミン[2]                           |
| 070  | ・・・・ウレトジオン基へのオリゴマー化   | 003                                     | ・・・・・ポリヒドロキシ化合物   |
| 18/10  | ・・・イソシアネートまたはイソチオシアネートと活性水素を有する化合物との最   | 006                                     | ・・・・・脂肪族の   |
|  |   | 012                                     | ・・・・・環式脂肪族基を含有するもの  |
|  |   | 015                                     | ・・・・・芳香族基またはベンゾキノンを含有するもの                                   |
|  |   | 018                                     | ・・・・・環に少なくとも 1 個の酸素原子を持つ環式基を含有するもの                          |
|  |   | 021                                     | ・・・・・高級脂肪酸以外のカルボン酸のヒドロキシル化エステル                              |
|  |   | 025                                     | ・・・・・ポリアミン  |
|  |   | 028                                     | ・・・・・非環式の   |
|  |   | 034                                     | ・・・・・環式脂肪族の   |
|  |   | 037                                     | ・・・・・芳香族の (C08G18/32 034 が優先)                               |
|  |   | 046                                     | ・・・・・複素環, 異種原子がアミノ基の  |

|       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
|       | 形で酸素または窒素であるもの   | 036   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/56 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ 二級または三級アミノ基を含有するもの (C08G18/32 028, C08G18/32 034, C08G18/32 046 が優先) | 045   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/58 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 053   | ・ ・ ・ ・ ・ 潜在的な形のもの   | 054   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/60 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 071   | ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシアミン   | 063   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/62 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 087   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族基を含有するもの  | 072   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/63 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 090   | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族基を含有するもの  | 081   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/64 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                 |
| 093   | ・ ・ ・ ・ ・ 複素環式基を含有するもの   | 18/42 | ・ ・ ・ 主鎖にカルボン酸エステルまたは炭酸エステル基を有する重縮合物[2]                                   |
| 096   | ・ ・ ・ ・ ・ 潜在的な形のもの   | 002   | ・ ・ ・ ・ ・ 異なった物理的性質または化学的性質の 2 以上のポリエステル (C08G18/44 が優先)                  |
| 18/34 | ・ ・ ・ ・ カルボン酸; そのモノヒドロキシ化合物とのエステル[2]   | 005   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式基を含有するもの  |
| 010   | ・ ・ ・ ・ ・ ジカルボン酸, 2 個のカルボキシル基を含有するポリカルボン酸エステル                                  | 008   | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族基を含有するもの   |
| 030   | ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも 3 個のカルボキシル基を持つポリカルボン酸  | 030   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族基を含有するもの   |
| 080   | ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシカルボン酸   | 044   | ・ ・ ・ ・ ・ エーテル基の形で酸素を含有するもの   |
| 18/36 | ・ ・ ・ ・ 高級脂肪酸のヒドロキシル化エステル[2]   | 063   | ・ ・ ・ ・ ・ カルボン酸基を含有するもの   |
| 18/38 | ・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するもの (C08G18/32 が優先) [2]                                    | 066   | ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシカルボン酸および/またはラクトンから製造されたもの                                  |
| 002   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを持つもの  | 069   | ・ ・ ・ ・ ・ ラクトン  |
| 004   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリヒドロキシ化合物   | 080   | ・ ・ ・ ・ ・ ラクチド  |
| 014   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリアミン  | 083   | ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシカルボン酸またはエステル   |
| 017   | ・ ・ ・ ・ ・ 高級脂肪酸のヒドロキシル化エステル  | 088   | ・ ・ ・ ・ ・ 高級脂肪油またはその酸によりまたは樹脂酸により変性されたもの                                  |
| 019   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を持つもの  | 091   | ・ ・ ・ ・ ・ モノエポキシ化合物を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの (C08G18/42 066 が優先)           |
| 042   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの  | 094   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリエポキシ化合物を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの (C08G18/42 066 が優先)           |
| 055   | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを持つもの   | 097   | ・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族アルデヒド縮合物またはその水素添加物で少なくとも 2 個のヒドロキシル基を含有するポリエステル形成成分から製造されたもの |
| 057   | ・ ・ ・ ・ ・ いおうの他に窒素を持つもの  | 18/44 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリカーボネート[2]   |
| 063   | ・ ・ ・ ・ ・ 2 個の炭素原子の間にいおう原子を持つ基を含有するもの, いおう原子が直接炭素原子または他のいおう原子に結合するもの           | 18/46 | ・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するもの[2]  |
| 074   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個のいおう原子を持つ複素環を含有するもの                                       | 007   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを持つもの   |
| 076   | ・ ・ ・ ・ ・ メルカプト基を含有するもの  | 015   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を含有するもの   |
| 078   | ・ ・ ・ ・ ・ りんを持つもの  | 030   | ・ ・ ・ ・ ・ ニトロ基を含有するもの   |
| 089   | ・ ・ ・ ・ ・ りんの他に窒素を持つもの   | 038   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの                                   |
| 091   | ・ ・ ・ ・ ・ りんの他にいおうを持つもの  | 069   | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和ポリエステルとアミノ化合物の付加生成物  |
| 093   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含有するもの   | 076   | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを含有するもの  |
| 097   | ・ ・ ・ ・ ・ 酸素, ハロゲン, 窒素, いおう, りんまたはけい素以外の異種原子を含有するもの                            | 084   | ・ ・ ・ ・ ・ りんを含有するもの   |
| 18/40 | ・ ・ ・ 高分子量化合物[2]   |       |   |
| 009   | ・ ・ ・ ・ C08G18/42 から C08G18/64 の単一のグループには含まれない 2 種以上の高分子化合物                    |       |   |
| 018   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/42 の化合物と C08G18/48 の化合物との混合物                               |       |   |
| 027   | ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/54 の化合物と他の高分子化合物との混合物                                      |       |   |

|       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
| 092   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含有するもの   | 18/54 | ・ ・ ・ ・ ・ アルデヒドの重縮合物[2]   |
| 18/48 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリエーテル[2]  | 18/56 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリアセタール[2]  |
| 004   | ・ ・ ・ ・ ・ 異なった物理的性質または化学的性質の 2 以上のポリエーテル                                 | 18/58 | ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ樹脂[2]   |
| 033   | ・ ・ ・ ・ ・ オキシエチレン単位を含有するポリエーテル   | 010   | ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ樹脂とイソシアネート成分との反応前または反応中に添加される当量以下の活性水素含有化合物との反応生成物（アミンとのもの C08G18/58 040） |
| 037   | ・ ・ ・ ・ ・ さらに他のオキシアルキレン単位を持つもの   | 020   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを持つもの   |
| 041   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ オキシエチレン末端基を含有するもの                                      | 040   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を持つもの   |
| 045   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ オキシプロピレン末端基または高級オキシアルキレン末端基を含有するもの                     | 050   | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを持つもの  |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 混合したオキシエチレンーオキシプロピレン末端基またはオキシエチレンー高級オキシアルキレン末端基を含有するもの | 070   | ・ ・ ・ ・ ・ りんを持つもの   |
| 054   | ・ ・ ・ ・ ・ アルキレン基に 4 個の炭素原子を持つオキシアルキレン基含有ポリエーテル                           | 080   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を持つもの  |
| 058   | ・ ・ ・ ・ ・ アルキレン基に 5 個以上の炭素原子を持つオキシアルキレン基含有ポリエーテル                         | 18/60 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリアミドまたはポリエステルアミド[2]  |
| 062   | ・ ・ ・ ・ ・ 少なくとも側鎖にエーテル基の一部分を含有するもの                                       | 18/61 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリシロキサン[2]  |
| 066   | ・ ・ ・ ・ ・ 低不飽和価を持つもの   | 050   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素酸基を含有するもの   |
| 070   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式基を含有するポリエーテル   | 18/62 | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を有する化合物の重合体[2]   |
| 075   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族基を含有するもの  | 004   | ・ ・ ・ ・ ・ オレフィンの重合体（共役ジエンの不飽和重合体 C08G18/69）   |
| 079   | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族基を含有するもの  | 012   | ・ ・ ・ ・ ・ アルケニルアルコールの重合体；そのアセタール；そのオキシアルキル化生成物  |
| 083   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個の酸素原子を持つ環式基を含有するもの                                  | 016   | ・ ・ ・ ・ ・ $\alpha$ — $\beta$ エチレン性不飽和カルボン酸またはその誘導体の重合体                                  |
| 087   | ・ ・ ・ ・ ・ 高級脂肪油の酸または樹脂酸以外のカルボン酸から誘導されたカルボン酸エステル基を含有するもの                  | 070   | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和高級脂肪酸のヒドロキシル化エステルの重合体  |
| 091   | ・ ・ ・ ・ ・ 高級脂肪油またはその酸または樹脂酸で変性されたもの                                      | 075   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持つハロゲン含有化合物の重合体；炭素—炭素二重結合を持つ化合物の重合体のハロゲン化物（C08G18/62 012 が優先）       |
| 18/50 | ・ ・ ・ ・ ・ 酸素以外の異種原子を有するものの[2]  | 083   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持つ窒素含有化合物の重合体   |
| 003   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを持つもの  | 087   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持ついおう含有化合物の重合体  |
| 021   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素を持つもの  | 091   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持つりん含有化合物の重合体   |
| 033   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環基を含有するもの  | 095   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持つけい素含有化合物の重合体  |
| 051   | ・ ・ ・ ・ ・ シアノ基を含有するもの  | 18/63 | ・ ・ ・ ・ ・ 重合体に炭素—炭素二重結合を有する化合物を重合することによって得られるブロックまたはグラフト重合体[2]                          |
| 054   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの                                  | 010   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリエステルおよび/またはポリカーボネートに  |
| 066   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素のほかにハロゲンを持つもの  | 020   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリエーテルに   |
| 072   | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを含有するもの   | 030   | ・ ・ ・ ・ ・ 炭素—炭素二重結合を持つ化合物の重合体に  |
| 075   | ・ ・ ・ ・ ・ りんを含有するもの  | 050   | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和重合体に   |
| 090   | ・ ・ ・ ・ ・ りんの他に窒素を持つもの   | 18/64 | ・ ・ ・ ・ ・ グループ C08G18/42—C08G18/63 に分類されない高分子化合物[2]                                     |
| 093   | ・ ・ ・ ・ ・ りんの他にいおうを持つもの  | 007   | ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ樹脂と少なくとも同量の活性水素含有化合物との反応生成物   |
| 096   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含有するもの   |       |   |
| 18/52 | ・ ・ ・ ・ ・ ポリチオエーテル[2]  |       |   |

- (アミンともの C08G18/64 030;C08G18/42, C08G18/48 が優先)
- 015 ・・・・窒素を持つもの
- 023 ・・・・ポリアルキレンポリアミン;  
ポリエチレンイミン;それらの誘導体(ポ  
リアミドまたはポリエステルアミド  
C08G18/60)
- 030 ・・・・エポキシ樹脂と少なくとも同  
量のアミンとの反応生成物
- 038 ・・・・ポリイミドまたはポリエステ  
ルイミド
- 046 ・・・・蛋白質またはその誘導体
- 053 ・・・・いおうを持つもの
- 061 ・・・・りんを持つもの
- 069 ・・・・けい素を持つもの
- 076 ・・・・瀝青質材料, 例. アスファルト,  
コールタール, ピッチ;その誘導体
- 084 ・・・・多糖類およびその誘導体
- 092 ・・・・リグニン含有材料;木質樹脂;木  
質タール;その誘導体
- 18/65 ・・・・活性水素を有する高分子量化合物を  
含む活性水素を有する低分子量化合物  
[2]
- 005 ・・・・低分子化合物が, グループ C08G18/32  
の化合物または C08G18/38 のポリアミン  
であるもの
- 011 ・・・・グループ C08G18/32 003 の化合  
物
- 023 ・・・・グループ C08G18/32 025 または  
C08G18/32 071 の化合物または C08G18/38  
のポリアミン
- 041 ・・・・低分子化合物がグループ C08G18/34  
の化合物であるもの
- 047 ・・・・低分子化合物がグループ C08G18/36  
の化合物または C08G18/38 の高級脂肪酸  
のヒドロキシル化エステルであるもの
- 052 ・・・・グループ C08G18/63 の化合物
- 058 ・・・・グループ C08G18/32 の化合物ま  
たは C08G18/38 のポリアミンとともに
- 076 ・・・・グループ C08G18/69 の化合物
- 082 ・・・・グループ C08G18/32 の化合物ま  
たは C08G18/38 のポリアミンとともに
- 18/66 ・・・・グループ C08G18/42, C08G18/48 ま  
たは C08G18/52 の化合物[2]
- 003 ・・・・グループ C08G18/32 の化合物ま  
たは C08G18/38 のポリアミンとともに
- 007 ・・・・グループ C08G18/32 003 の化  
合物とともに
- 014 ・・・・グループ C08G18/32 025 また  
は C08G18/32 071 の化合物または  
C08G18/38 のポリアミンとともに
- 025 ・・・・グループ C08G18/34 の化合物と  
ともに
- 029 ・・・・グループ C08G18/36 の化合物ま  
たは C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロキ  
シル化エステルとともに
- 033 ・・・・グループ C08G18/42 の化合物
- 037 ・・・・グループ C08G18/32 の化合物  
または C08G18/38 のポリアミンとともに
- 040 ・・・・グループ C08G18/32 003 の  
化合物とともに
- 048 ・・・・グループ C08G18/32 025 ま  
たは C08G18/32 071 の化合物または  
C08G18/38 のポリアミンとともに
- 059 ・・・・グループ C08G18/34 の化合物  
とともに
- 062 ・・・・グループ C08G18/36 の化合物  
または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロ  
キシル化エステルとともに
- 066 ・・・・グループ C08G18/48 または C08G18/52  
の化合物
- 067 ・・・・グループ C08G18/32 の化合物  
または C08G18/38 のポリアミンとともに
- 074 ・・・・グループ C08G18/32 003 の  
化合物とともに
- 081 ・・・・グループ C08G18/32 または  
C08G18/32 071 の化合物および/または  
C08G18/38 のポリアミンとともに
- 092 ・・・・グループ C08G18/34 の化合物  
とともに
- 096 ・・・・グループ C08G18/36 の化合物  
または C08G18/38 の高級脂肪酸のヒドロ  
キシル化エステルとともに
- 18/67 ・・・・活性水素を有する不飽和化合物[2]
- 005 ・・・・グループ C08G18/67 010, C08G18/67  
095, C08G18/68 または C08G18/69 に含ま  
れない不飽和重合体
- 010 ・・・・活性水素を含有する基を 1 個だけ  
持った不飽和化合物 (C08G18/67 050 か  
ら C08G18/69 に優先)
- 050 ・・・・低分子量化合物
- 055 ・・・・不飽和カルボン酸
- 060 ・・・・非芳香族炭素環の少なくとも部  
分的不飽和を含有するもの
- 065 ・・・・環に少なくとも 1 個の酸素原子  
を持つ環の少なくとも部分的不飽和を含  
有するもの
- 070 ・・・・酸素および一級または二級アミ  
ノ基の窒素原子以外の異種原子を含有す  
るもの
- 075 ・・・・ハロゲンを含有するもの
- 080 ・・・・窒素を含有するもの
- 085 ・・・・りんを含有するもの
- 090 ・・・・アセチレン化合物
- 095 ・・・・不飽和ポリエーテル
- 18/68 ・・・・不飽和ポリエステル[2]

|       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 030   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式基を含有するもの  | 18/74 | ・ ・ ・ ・ ・ 環式[2]   |
| 060   | ・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族基を含有するもの   | 18/75 | ・ ・ ・ ・ ・ 環式脂肪族[2]  |
| 18/69 | ・ ・ ・ ・ ・ 共役ジエンの重合体[2]  | 010   | ・ ・ ・ ・ ・ ただ 1 個の脂肪族環を含有するもの  |
| 020   | ・ ・ ・ ・ ・ カルボン酸基を含有するもの   | 080   | ・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の脂肪族環を含有するもの  |
| 040   | ・ ・ ・ ・ ・ カルボン酸エステル基を含有するもの   | 18/76 | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族[2]  |
| 060   | ・ ・ ・ ・ ・ 酸素および共重合されたビニルモノマーの異種原子以外の異種原子を含有するもの   | 007   | ・ ・ ・ ・ ・ C08G18/76 014 および C08G18/76 057 の化合物                              |
| 18/70 | ・ ・ 用いられたイソシアネートまたはイソチオシアネートに特徴のあるもの[2]   | 014   | ・ ・ ・ ・ ・ ただ 1 個の芳香族環を含有するもの  |
| 010   | ・ ・ ・ その場でイソシアネートまたはイソチオシアネートを形成する化合物 (C08G18/80 が優先)   | 057   | ・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の芳香環を含有するもの   |
| 030   | ・ ・ ・ 物理的な手段により潜在的な形態に変化させられたイソシアネートまたはイソチオシアネート  | 078   | ・ ・ ・ ・ ・ 縮合芳香環を含有するもの  |
| 080   | ・ ・ ・ 非反応性高分子量化合物を含有するイソシアネートまたはイソチオシアネート   | 085   | ・ ・ ・ ・ ・ 相互に直接結合した 2 個以上の非縮合芳香環を含有するもの                                     |
| 18/71 | ・ ・ ・ モノイソシアネートまたはモノイソチオシアネート[2]  | 092   | ・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族基によって芳香族環に結合した少なくとも 1 個のイソシアネート基またはイソチオシアネート基を含有するもの           |
| 010   | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネート酸素のほかに酸素を含有するもの  | 18/77 | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートの窒素および酸素または硫黄以外にさらに異種原子を有するもの[2]               |
| 020   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含有するもの   | 010   | ・ ・ ・ ・ ・ 酸素  |
| 040   | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートの窒素のほかに窒素を含有するもの   | 030   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲン  |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ イソチオシアネートのいおうのほかにいおうを含有するもの   | 050   | ・ ・ ・ ・ ・ いおう   |
| 070   | ・ ・ ・ ・ ・ りんを含有するもの   | 060   | ・ ・ ・ ・ ・ りん  |
| 080   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含有するもの  | 080   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素   |
| 18/72 | ・ ・ ・ ポリイソシアネートまたはポリイソチオシアネート[2]  | 18/78 | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素[2]   |
| 010   | ・ ・ ・ ・ C08G18/73 から C08G18/80 の単一のグループには含まれない 2 以上のポリイソシアネート                                       | 006   | ・ ・ ・ ・ ・ -N-C=O 基を含有するもの   |
| 020   | ・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の脂肪族および/または脂環式ポリイソシアネートの組み合わせ   | 012   | ・ ・ ・ ・ ・ アミド基を含有するもの   |
| 040   | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族ポリイソシアネートと (環式) 脂肪族ポリイソシアネートの組み合わせ   | 018   | ・ ・ ・ ・ ・ ユレム基またはユレム誘導基を含有するもの  |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ C08G18/78 のポリイソシアネートと他のポリイソシアネートの組み合わせ  | 025   | ・ ・ ・ ・ ・ ユレム基を含有するもの   |
| 070   | ・ ・ ・ ・ ・ 蒸留残渣または非蒸留ホスゲン化原生成分物からなるもの  | 031   | ・ ・ ・ ・ ・ ビウレット基を含有するもの   |
| 18/73 | ・ ・ ・ ・ ・ 非環式[2]  | 037   | ・ ・ ・ ・ ・ アロファネート基を含有するもの   |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ 一級炭素原子に結合した 1 個のイソシアネート基またはイソチオシアネート基および三級炭素原子に結合した少なくとも 1 個のイソシアネート基またはイソチオシアネート基を含有するもの | 050   | ・ ・ ・ ・ ・ 三級アミノ基を含有するもの   |
|       |   | 056   | ・ ・ ・ ・ ・ アゾ基を含有するもの  |
|       |   | 062   | ・ ・ ・ ・ ・ シアノ基またはアルジミンまたはケチミン基を含有するもの                                       |
|       |   | 068   | ・ ・ ・ ・ ・ ニトロ基を含有するもの   |
|       |   | 075   | ・ ・ ・ ・ ・ 環に少なくとも 1 個の窒素原子を持つ複素環を含有するもの                                     |
|       |   | 18/79 | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションにより形成された基をもつポリイソシアネートの使用に特徴のあるもの[2] |
|       |   | 010   | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアヌレート基を含有するもの  |
|       |   | 020   | ・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族および/または脂環式イソシアネートまたはイソチオシアネ                                    |

|       |  |       |   |
|-------|--|-------|---|
|       | ートのオリゴメリゼーションにより形成されたもの  |       | 020)  |
| 040   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族イソシアネートまたはイソチオシアネートのオリゴメリゼーションにより形成されたもの  | 030   | ・ ・ ・ 窒素含有化合物によるもの（アゾ化合物によるもの C08G18/85）  |
| 050   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族および/または脂環式イソシアネートまたはイソチオシアネートと芳香族イソシアネートまたはイソチオシアネートの混合物のオリゴメリゼーションにより形成されたもの   | 060   | ・ ・ ・ りん含有化合物によるもの  |
| 070   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ カルボジイミド基および/またはウレトイミン基を含有するもの  | 070   | ・ ・ ・ けい素含有化合物によるもの   |
| 080   | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ウレトジオン基を含有するもの   | 080   | ・ ・ ・ 酸素, ハロゲン, 窒素, いおう, りんまたはけい素以外の異種原子を含有する化合物によるもの   |
| 18/80 | ・ ・ ・ ・ 封鎖されたポリイソシアネート[2]  | 18/84 | ・ ・ ・ アルデヒドによるもの[2]   |
| 061   | ・ ・ ・ ・ 活性水素を含有する 1 つだけの基を持つ化合物で封鎖されたもの  | 18/85 | ・ ・ ・ アゾ化合物によるもの[2]   |
| 064   | ・ ・ ・ ・ ・ モノヒドロキシル化合物で   | 18/86 | ・ ・ ・ 過酸化物によるもの[2]  |
| 067   | ・ ・ ・ ・ ・ フェノール化合物   | 18/87 | ・ ・ ・ いおうによるもの[2]   |
| 070   | ・ ・ ・ ・ ・ 窒素含有化合物で   | 59/00 | 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物;エポキシ重縮合物と単官能性低分子量化合物との反応によって得られる高分子化合物;エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する化合物を重合することにより得られる高分子化合物[2] |
| 074   | ・ ・ ・ ・ ・ ラクタム   | 59/02 | ・ 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含有する重縮合物[2]  |
| 077   | ・ ・ ・ ・ ・ オキシム   | 59/04 | ・ ・ ポリヒドロキシ化合物のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との[2]   |
| 080   | ・ ・ ・ ・ ・ モノアミン  | 59/06 | ・ ・ ・ 多価フェノールの[2]   |
| 083   | ・ ・ ・ ・ ・ 酸素または窒素以外の少なくとも 1 個の異種原子を含有する化合物で  | 59/08 | ・ ・ ・ フェノール—アルデヒド縮合物からの[2]  |
| 087   | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲン原子を含有するもの  | 59/10 | ・ ・ ポリアミンのエピハロヒドリンまたはその前駆物質との[2]  |
| 090   | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含有するもの   | 59/12 | ・ ・ ポリカルボン酸のエピハロヒドリンまたはその前駆物質との[2]  |
| 093   | ・ ・ ・ ・ ・ 活性メチレン基を含有する化合物  | 59/14 | ・ 化学的後処理により変性された重縮合物[2]   |
| 096   | ・ ・ ・ ・ ・ 活性水素を含有する基を 1 個だけ持つ 2 種以上の化合物で   | 59/16 | ・ ・ モノカルボン酸によるもの, またはその酸無水物, ハライドまたは低分子量エステルによるもの[2]  |
| 18/81 | ・ ・ ・ 不飽和イソシアネートまたはイソチオシアネート[2]  | 59/17 | ・ ・ ・ アクリル酸またはメタクリル酸によるもの[4]  |
| 008   | ・ ・ ・ ・ イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 1 個だけ持つもの   | 59/18 | ・ エポキシ基と反応する硬化剤または触媒を用いて 1 分子中に 1 個より多くのエポキシ基を含む化合物を重合することにより得られる高分子化合物[2]  |
| 016   | ・ ・ ・ ・ ・ イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 1 個だけ持つアクリル酸またはアルキルアクリル酸のエステル                                     | 59/20 | ・ ・ 用いられたエポキシ化合物に特徴のあるもの[2]   |
| 025   | ・ ・ ・ ・ イソシアネート基またはイソチオシアネート基を 2 個以上持つもの   |       |   |
| 033   | ・ ・ ・ ・ アセチレン基を持つもの  |       |   |
| 18/82 | ・ ・ 重合後の処理[2]  |       |   |
| 18/83 | ・ ・ 化学的に変性された重合体[2]  |       |   |
| 010   | ・ ・ ・ 炭酸ハロゲン化物, カルボン酸ハロゲン化物およびエポキシハロゲン化物を含む酸素含有化合物によるもの（アルデヒドによるもの C08G18/84, 過酸化物によるもの C08G18/86） |       |   |
| 020   | ・ ・ ・ ・ 加水分解剤として作用する水によるもの（イソシアネートと水の反応 C08G18/30 020;イソシアネートプレポリマーと水の反応 C08G18/10 + C08G18/30     |       |   |

## 注

・ ・ エポキシ重縮合物の製造と硬化であって, そのエポキシ重縮合物が低分子量化合物に限られず, その硬化法に特徴のないものは, グループ 59/02 にのみ分類する。[2]

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 59/22 | ・ ・ ・ ジエポキシ化合物[2]          |
| 59/24 | ・ ・ ・ ・ 炭素環式[2]            |
| 59/26 | ・ ・ ・ ・ 複素環式[2]            |
| 59/28 | ・ ・ ・ ・ 非環式窒素原子を含むもの[2]    |
| 59/30 | ・ ・ ・ ・ 炭素, 水素, 酸素および窒素以外の |



|   |  |        |  |
|---|--|--------|--|
|   | 原子を含むもの[2]   |        | C08G69/44; ポリエステル—イミド  |
| 59/32   | ・ ・ ・ 3 個またはそれ以上のエポキシ基を含むエポキシ化合物[2]                              |        | C08G73/16) [2006. 01]  |
| 59/34   | ・ ・ ・ ・ 不飽和重合体のエポキシ化により得られるもの[2]                                 | 注      |  |
| 59/36   | ・ ・ ・ ・ モノエポキシ化合物と共に用いるもの[2]                                     | ポリエステル | の化学構造によって特徴づけられる化合物はポリエステル化合物の型に対応するグループに分類する。ポリエステルの製造方法によって特徴づけられる化合物は採用された方法に対応するグループ C08G63/78-C08G63/87 に分類する。化学構造と製造方法の両方によって特徴づけられる化合物は各々の観点に従って分類する。 |
| 59/38   | ・ ・ ・ ・ ジエポキシ化合物と共に用いるもの[2]                                      | 63/02  | ・ ヒドロキシカルボン酸からまたはポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物から誘導されるポリエステル[2006. 01]   |
| 59/40   | ・ ・ 用いられた硬化剤に特徴のあるもの[2]  | 63/06  | ・ ・ ヒドロキシカルボン酸から誘導されたもの[2006. 01]  |
| 59/42   | ・ ・ ・ ポリカルボン酸; その酸無水物, ハライドまたは低分子量エステル[2]                        | 63/08  | ・ ・ ・ ラクトンまたはラクチド[2006. 01]  |
| 59/44   | ・ ・ ・ アミド[2]   | 63/12  | ・ ・ ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物とから誘導されるもの[2006. 01]   |
| 59/46   | ・ ・ ・ ・ 他の硬化剤と共に用いるもの[2]   | 63/123 | ・ ・ ・ 炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物[2006. 01]   |
| 59/48   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリカルボン酸と共に, またはその酸無水物, ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの[2]      | 63/127 | ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含む酸[2006. 01]   |
| 59/50   | ・ ・ ・ アミン[2]   | 63/13  | ・ ・ ・ ・ ・ 2 つ以上の芳香族環を含むもの[2006. 01]  |
| 59/52   | ・ ・ ・ ・ アミノカルボン酸[2]  | 63/133 | ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含むヒドロキシ化合物[2006. 01]  |
| 59/54   | ・ ・ ・ ・ アミノアミド[2]  | 63/137 | ・ ・ ・ ・ 脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物[2006. 01]  |
| 59/56   | ・ ・ ・ ・ 他の硬化剤と共に用いるもの[2]   | 63/16  | ・ ・ ・ ジカルボン酸およびジヒドロキシ化合物[2006. 01]   |
| 59/58   | ・ ・ ・ ・ ・ ポリカルボン酸と共に, またはその酸無水物, ハライドまたは低分子量エステルと共に用いるもの[2]      | 63/18  | ・ ・ ・ ・ 炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物[2006. 01]   |
| 59/60   | ・ ・ ・ ・ ・ アミドと共に用いるもの[2]   | 63/181 | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含む酸[2006. 01]   |
| 59/62   | ・ ・ ・ アルコールまたはフェノール[2]   | 63/183 | ・ ・ ・ ・ ・ テレフタル酸[2006. 01]   |
| 59/64   | ・ ・ ・ ・ アミノアルコール[2]  | 63/185 | ・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の芳香族環を含むもの[2006. 01]   |
| 59/66   | ・ ・ ・ メルカプタン[2]  | 63/187 | ・ ・ ・ ・ ・ 縮合芳香族環を含むもの[2006. 01]  |
| 59/68   | ・ ・ 用いられた触媒に特徴のあるもの[2]   | 63/189 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ナフタリン環を含むもの[2006. 01]  |
| 59/70   | ・ ・ ・ キレート[2]  | 63/19  | ・ ・ ・ ・ ・ 芳香族環を含むヒドロキシ化合物[2006. 01]  |
| 59/72   | ・ ・ ・ ハロゲン化ほう素の錯体[2]   | 63/191 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキノン[2006. 01]   |
| 注   |  | 63/193 | ・ ・ ・ ・ ・ 2 以上の芳香族環を含むもの[2006. 01]   |
| グループ 61/00 から 79/00 においては, 相反する指示がない限り, 主鎖に 2 種の異なる結合を形成する反応により得られる高分子化合物は, 過剰に存在する結合にのみ従って分類する。[2] |  | 63/195 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ビスフェノール A[2006. 01]  |
| 61/00   | 高分子の主鎖に炭素—炭素連結基を形成する反応により得られる高分子化合物 (C08G2/00-C08G16/00 が優先) [2] | 63/197 | ・ ・ ・ ・ ・ 縮合芳香族環を含むもの[2006. 01]  |
| 61/02   | ・ 高分子の主鎖に炭素原子のみを含む高分子化合物, 例. ポリキシリレン[2]                          | 63/199 | ・ ・ ・ ・ ・ 脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物[2006. 01]  |
| 61/04   | ・ ・ 脂肪族炭素原子のみを含むもの[2]  | 63/20  | ・ ・ ・ ・ 1 つの反応性基または 2 つ以上の反応性基を持つ化合物の存在下で製造されるポリエステル[2006. 01]   |
| 61/06   | ・ ・ ・ 炭素環式化合物の開環によりつくられるもの[2]                                    | 63/21  | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコールまたはそれらの反応性誘導体の存在下のもの[2006. 01]  |
| 61/08   | ・ ・ ・ ・ 環中に 1 個またはそれ以上の炭素—炭素二重結合を含む炭素環式化合物の[2]                   | 63/40  | ・ ・ ・ ポリカルボン酸のまたはポリヒドロ   |
| 61/10   | ・ ・ 芳香族炭素原子のみを含むもの, 例. ポリフェニレン[2]                                |        |  |
| 61/12   | ・ 高分子の主鎖に炭素以外の原子を含む高分子化合物[2]                                     |        |  |
| 63/00   | 高分子の主鎖にカルボン酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 (ポリエステル—アミド             |        |  |

|        |   |        |  |
|--------|---|--------|--|
|        | キシ化合物の, それらのエステル以外の, エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル[2006. 01]                    |        |  |
| 63/42  | ・・・・環状エーテル (C08G59/00 が優先); 環状カーボネート;環状サルファイト;環状オルトエステル[2006. 01]         | 63/682 | ・・・・ハロゲンを含むもの[2006. 01]  |
| 63/44  | ・・・・ポリアミド;ポリニトリル[2006. 01]  | 63/685 | ・・・・窒素を含むもの[2006. 01]  |
| 63/46  | ・・・・エステル化によって化学的に変性されたポリエステル (C08G63/20 が優先) [2006. 01]                   | 63/688 | ・・・・いおうを含むもの[2006. 01]   |
| 63/47  | ・・・・不飽和モノカルボン酸または不飽和一価アルコールまたはそれらの反応性誘導体によるもの[2006. 01]                   | 63/692 | ・・・・りんを含むもの[2006. 01]  |
| 63/48  | ・・・・不飽和高級脂肪油またはその酸によるもの:樹脂酸によるもの[2006. 01]                                | 63/695 | ・・・・けい素を含むもの[2006. 01]   |
| 63/49  | ・・・・アルキッド樹脂[2006. 01]   | 63/698 | ・・・・ほう素を含むもの[2006. 01]   |
| 63/50  | ・・・・一価アルコールによるもの[2006. 01]  | 63/78  | ・製造法[2006. 01]   |
| 63/52  | ・・・・ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物であって 2 成分のうち少くとも 1 成分が脂肪族不飽和を含むもの[2006. 01]       | 63/79  | ・・・・界面的方法, すなわち 2 つの非混和性液体の界面での反応を含む方法[2006. 01]   |
| 63/54  | ・・・・炭素環を含む酸またはヒドロキシ化合物[2006. 01]  | 63/80  | ・・・・固相重縮合[2006. 01]  |
| 63/547 | ・・・・芳香族環を含むヒドロキシ化合物[2006. 01]   | 63/81  | ・・・・溶媒を用いるもの (C08G63/79 が優先) [2006. 01]  |
| 63/553 | ・・・・脂肪族環を含む酸またはヒドロキシ化合物, 例. ディールスーアルダー付加物[2006. 01]                       | 63/82  | ・・・・用いられた触媒に特徴があるもの[2006. 01]  |
| 63/56  | ・・・・ポリカルボン酸またはポリヒドロキシ化合物の, それらのエステル以外の, エステル形成性誘導体から誘導されたポリエステル[2006. 01] | 63/83  | ・・・・アルカリ金属, アルカリ土類金属, ベリリウム, マグネシウム, 銅, 銀, 金, 亜鉛, カドミウム, 水銀, マンガン, またはそれらの化合物[2006. 01]        |
| 63/58  | ・・・・環状エーテル (C08G59/00 が優先);環状カーボネート;環状サルファイト[2006. 01]                    | 63/84  | ・・・・ほう素, アルミニウム, ガリウム, インジウム, タリウム, 希土類金属, またはそれらの化合物[2006. 01]                                |
| 63/60  | ・・・・ヒドロキシカルボン酸, ポリカルボン酸およびポリヒドロキシ化合物の混合物の反応から誘導されるもの[2006. 01]            | 63/85  | ・・・・ゲルマニウム, スズ, 鉛, ひ素, アンチモン, ビスマス, チタン, ジルコニウム, ハフニウム, バナジウム, ニオブ, タンタル, またはそれらの化合物[2006. 01] |
| 63/64  | ・カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含むポリエステル[2006. 01]                                | 63/86  | ・・・・ゲルマニウム, アンチモン, またはそれらの化合物[2006. 01]  |
| 63/66  | ・エーテル基の形で酸素を含むポリエステル (C08G63/42, C08G63/58 が優先) [2006. 01]                | 63/87  | ・・・・非金属またはその相互間化合物 (ほう素 C08G63/84) [2006. 01]  |
| 63/664 | ・・・・ヒドロキシカルボン酸から誘導されるもの[2006. 01]   | 63/88  | ・重合後の処理[2006. 01]  |
| 63/668 | ・・・・ポリカルボン酸とポリヒドロキシ化合物から誘導されるもの[2006. 01]                                 | 63/89  | ・・・・重合体の回収[2006. 01]   |
| 63/672 | ・・・・ジカルボン酸とジヒドロキシ化合物[2006. 01]  | 63/90  | ・・・・精製;乾燥[2006. 01]  |
| 63/676 | ・・・・2 成分のうち少なくとも 1 成分が脂肪族不飽和を含むもの[2006. 01]                               | 63/91  | ・化学的後処理による変性された重合体[2006. 01]   |
| 63/68  | ・炭素, 水素および酸素以外の原子を含むポリエステル (C08G63/64 が優先) [2006. 01]                     | 64/00  | 高分子の主鎖に炭酸エステル連結基を形成する反応によって得られる高分子化合物 (ポリカーボネートーアミド C08G69/44; ポリカーボネートーイミド C08G73/16) [5]     |

## 注

カルボン酸エステル基および炭酸エステル基を共に含む重合体は, 炭酸エステル基がカルボン酸エステル基より多く含まれている場合でも, 常に 63/64 に分類する。[5]

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 64/02 | ・脂肪族ポリカーボネート[5]                |
| 64/04 | ・芳香族ポリカーボネート[5]                |
| 64/06 | ・・・・不飽和脂肪族を含有しないもの[5]          |
| 64/08 | ・・・・炭素, 水素または酸素以外の原子を含有するもの[5] |
| 64/10 | ・・・・ハロゲンを含有するもの[5]             |
| 64/12 | ・・・・窒素を含有するもの[5]               |
| 64/14 | ・・・・連鎖停止剤または鎖架橋剤を含有するもの[5]     |
| 64/16 | ・脂肪族—芳香族または芳香脂肪族ポリカ            |

|        |   |        |  |
|--------|---|--------|--|
|        | ーボネート[5]  | 65/329 | ・ ・ ・ 有機化合物による[7]  |
| 64/18  | ・ ブロックまたはグラフト重合体[5]   | 65/331 | ・ ・ ・ ・ 酸素を含むもの[7]   |
| 64/20  | ・ 製造法一般[5]  | 65/332 | ・ ・ ・ ・ ・ カルボキシル基, またはそのハラ<br>イドまたはエステルを含むもの[7]  |
| 64/22  | ・ ・ ハロゲン化カルボニルを用いるもの[5]   | 65/333 | ・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの[7]   |
| 64/24  | ・ ・ ・ およびフェノール[5]   | 65/334 | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを含むもの[7]  |
| 64/26  | ・ ・ ハロゲン化カーボネートを用いるもの<br>[5]  | 65/335 | ・ ・ ・ ・ ・ りんを含むもの[7]   |
| 64/28  | ・ ・ ・ およびフェノール[5]   | 65/336 | ・ ・ ・ ・ ・ けい素を含むもの[7]  |
| 64/30  | ・ ・ カーボネートを用いるもの[5]   | 65/337 | ・ ・ ・ ・ ・ その他の元素を含むもの (カルボ<br>キシル基のハライドとしてのみハロゲン<br>を含む有機化合物 C08G65/332) [7]   |
| 64/32  | ・ ・ 二酸化炭素を用いるもの[5]  | 65/338 | ・ ・ ・ 無機化合物と有機化合物とによる[7]   |
| 64/34  | ・ ・ ・ および環状エーテル[5]  | 65/34  | ・ ヒドロキシ化合物またはその金属誘導体<br>からの (C08G65/28 が優先) [2]  |
| 64/36  | ・ ・ 一酸化炭素を用いるもの[5]  | 65/36  | ・ ・ フルフルリアルコール[2]  |
| 64/38  | ・ ・ 他の単量体を用いるもの[5]  | 65/38  | ・ ・ フェノールから誘導されるもの[2]  |
| 64/40  | ・ 重合後の処理[5]   | 65/40  | ・ ・ ・ フェノールおよび他の化合物からの<br>[2]  |
| 64/42  | ・ 化学的後処理[5]   | 65/42  | ・ ・ ・ ・ フェノールおよびポリヒドロキシ<br>エーテル[2]   |
| 65/00  | 高分子の主鎖にエーテル連結基を形成する<br>反応により得られる高分子化合物 (エポ<br>キシ樹脂 C08G59/00; ポリチオエーテル—<br>エーテル C08G75/12; 10 以下の単量体単<br>位を含むポリエーテル C07C) [2] | 65/44  | ・ ・ ・ フェノールの酸化によるもの[2]   |
| 65/02  | ・ 複素環の開環による環状エーテルからの<br>[2]   | 65/46  | ・ ・ 重合後の処理, 例. 回収, 精製, 乾燥[2]   |
| 65/04  | ・ ・ 環状エーテルのみからの[2]  | 65/48  | ・ ・ 化学的後処理により変性された重合体<br>[2]   |
| 65/06  | ・ ・ ・ 環外に炭素および水素以外の原子を<br>有しない環状エーテル[2]   | 67/00  | グループ C08G2/00-C08G65/00 に属さない,<br>酸素または酸素と炭素を含む連結基を高<br>分子の主鎖に形成する反応により得られ<br>る高分子化合物[2]                             |
| 65/08  | ・ ・ ・ ・ 飽和オキシラン[2]  | 67/02  | ・ 一酸化炭素および脂肪族不飽和化合物の<br>共重合体[2]  |
| 65/10  | ・ ・ ・ ・ ・ 用いられた触媒に特徴のあるも<br>の[2]  | 67/04  | ・ ポリ酸無水物[2]  |
| 65/12  | ・ ・ ・ ・ ・ ・ 有機金属化合物または金属水<br>素化物を含むもの[2]  | 69/00  | 高分子の主鎖にカルボン酸アミド連結基を<br>形成する反応により得られる高分子化合<br>物 (ポリヒドラジド C08G73/08; ポリアミ<br>ド酸 C08G73/10; ポリアミド—イミド<br>C08G73/14) [2] |
| 65/14  | ・ ・ ・ ・ ・ 不飽和オキシラン[2]   | 69/02  | ・ アミノカルボン酸からまたはポリアミン<br>およびポリカルボン酸から誘導されるポ<br>リアミド[2]  |
| 65/16  | ・ ・ ・ ・ ・ 4 個またはそれ以上の環形成原子<br>を有する環状エーテル[2]   | 69/04  | ・ ・ 製造法[2]   |
| 65/18  | ・ ・ ・ ・ ・ ・ オキセタン[2]  | 69/06  | ・ ・ ・ 固相重縮合[2]   |
| 65/20  | ・ ・ ・ ・ ・ ・ テトラヒドロフラン[2]  | 69/08  | ・ ・ アミノカルボン酸から誘導されるもの<br>[2]   |
| 65/22  | ・ ・ ・ 環外に炭素および水素以外の少く<br>とも 1 個の原子を有する環状エーテル[2]   | 69/10  | ・ ・ ・ $\alpha$ —アミノカルボン酸[2]  |
| 65/24  | ・ ・ ・ ・ エピハロヒドリン[2]   | 69/12  | ・ ・ ・ アミノ基およびカルボキシル基が共<br>に芳香族に結合したもの[2]   |
| 65/26  | ・ ・ 環状エーテルおよび他の化合物からの<br>[2]  | 69/14  | ・ ・ ・ ラクタム[2]  |
| 65/28  | ・ ・ ・ 環式エーテルおよびヒドロキシ化合<br>物[2]  | 69/16  | ・ ・ ・ ・ 製造法[2]   |
| 65/30  | ・ ・ 重合後の処理, 例. 回収, 精製, 乾燥[2]  | 69/18  | ・ ・ ・ ・ ・ アニオン重合[2]  |
| 65/32  | ・ ・ 化学的後処理により変性された重合体<br>[2]  | 69/20  | ・ ・ ・ ・ ・ ・ 用いられた触媒に特徴のある<br>もの[2]   |
| 65/321 | ・ ・ ・ 無機化合物による[7]   | 69/22  | ・ ・ ・ ・ $\beta$ —ラクタム[2]   |
| 65/322 | ・ ・ ・ ・ 水素を含むもの[7]  | 69/24  | ・ ・ ・ ・ ピロリドンまたはヒペリドン[2]   |
| 65/323 | ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲンを含むもの[7]  |        |  |
| 65/324 | ・ ・ ・ ・ 酸素を含むもの[7]  |        |  |
| 65/325 | ・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの[7]  |        |  |
| 65/326 | ・ ・ ・ ・ ・ いおうを含むもの[7]   |        |  |
| 65/327 | ・ ・ ・ ・ ・ りんを含むもの[7]  |        |  |
| 65/328 | ・ ・ ・ ・ ・ その他の元素を含むもの[7]  |        |  |

69/26 ・ ・ ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの[2]  
 69/28 ・ ・ ・ 製造法[2]  
 69/30 ・ ・ ・ 固相重縮合[2]  
 69/32 ・ ・ ・ アミノ基およびカルボキシル基が共に芳香族に結合した芳香族ジアミンおよび芳香族ジカルボン酸からの[2]  
 69/34 ・ ・ ・ 重合した不飽和脂肪酸を用いるもの[2]  
 69/36 ・ ・ アミノ酸, ポリアミンおよびポリカルボン酸から誘導されるもの[2]  
 69/38 ・ アルデヒドおよびポリニトリルから製造されるポリアミド[2]  
 69/40 ・ エーテル基の形で酸素を含むポリアミド (C08G69/12, C08G69/32 が優先) [2]  
 69/42 ・ 炭素, 水素, 酸素および窒素以外の原子を含むポリアミド (C08G69/12, C08G69/32 が優先) [2]  
 69/44 ・ ポリエステル—アミド[2]  
 69/46 ・ 重合後の処理[2]  
 69/48 ・ 化学的後処理により変性された重合体[2]  
 69/50 ・ ・ アルデヒドによるもの[2]  
 71/00 高分子の主鎖にイソシアネート基以外からのウレイドまたはウレタン連結基を形成する反応により得られる高分子化合物[2]  
 71/02 ・ ポリ尿素[2]  
 71/04 ・ ポリウレタン[2]  
 73/00 グループ C08G12/00-C08G71/00 に属さない, 高分子の主鎖に酸素または炭素を有しまたは有せず窒素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物[2]  
 73/02 ・ ポリアミン (10 以下の単量体単位を含むもの C07C) [2]  
 73/04 ・ ・ アルキレンイミンから誘導されるもの[2]  
 73/06 ・ 高分子の主鎖に窒素含有複素環を有する重縮合物; ポリヒドラジド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質[2]  
 73/08 ・ ・ ポリヒドラジド; ポリトリアゾール; ポリアミノ—トリアゾール; ポリオキサジアゾール[2]  
 73/10 ・ ・ ポリイミド; ポリエステル—イミド; ポリアミド—イミド; ポリアミド酸または類似のポリイミド前駆物質[2]  
 73/12 ・ ・ ・ 不飽和ポリイミド前駆物質[2]  
 73/14 ・ ・ ・ ポリアミド—イミド[2]  
 73/16 ・ ・ ・ ポリエステル—イミド[2]  
 73/18 ・ ・ ポリベンゾイミダゾール[2]  
 73/20 ・ ・ ピロン[2]  
 73/22 ・ ・ ポリベンゾオキサゾール[2]  
 73/24 ・ フルオロニトロソ有機化合物および他のフルオロ有機化合物の共重合体, 例. ニト

ロソゴム[2]

73/26 ・ ・ トリフルオロニトロソメタンのフルオローオレフィンとの共重合体[2]  
 75/00 高分子の主鎖に窒素, 酸素または炭素を有しまたは有せずにおうを含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物[2]  
 75/02 ・ ポリチオエーテル[2, 2016. 01]  
 75/0204 ・ ・ ポリアリーレンチオエーテル[2016. 01]

#### 注

・ ・ (1) このグループでは, 高分子化合物は以下のグループの集合体のいずれかと関連する発明的観点に基づいて分類される

#### 注

・ ・ ・ C08G75/0209-C08G75/0245;

#### 注

・ ・ ・ C08G75/025-C08G75/0268;

#### 注

・ ・ ・ C08G75/0277-C08G75/0281; [2016. 01]

#### 注

・ ・ ・ C08G75/0286-C08G75/0295

#### 注

・ ・ (2) (1) に示されたグループの各集合体において, ラストプレイス優先ルールが適用される, すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り最後の適切な箇所に分類する。[2016. 01]

75/0209 ・ ・ ・ 1 個の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの[2016. 01]  
 75/0213 ・ ・ ・ 炭素, 水素またはいおう以外の元素を含むもの[2016. 01]  
 75/0222 ・ ・ ・ ・ 窒素を含むもの[2016. 01]  
 75/0227 ・ ・ ・ 2 個以上の芳香環を持つ単量体から誘導されたもの[2016. 01]  
 75/0231 ・ ・ ・ 連鎖停止剤または分岐剤を含有するもの[2016. 01]  
 75/0236 ・ ・ ・ アリーレン基間の連結基において炭素またはいおう以外の原子を含むもの[2016. 01]  
 75/024 ・ ・ ・ カルボニル基を含むもの[2016. 01]  
 75/0245 ・ ・ ・ ブロック重合体またはグラフト重合体[2016. 01]  
 75/025 ・ ・ ・ 製造法[2016. 01]  
 75/0254 ・ ・ ・ ・ 金属硫化物を用いるもの[2016. 01]  
 75/0259 ・ ・ ・ ・ 金属硫化水素を用いるもの[2016. 01]  
 75/0263 ・ ・ ・ ・ 元素いおうを用いるもの[2016. 01]  
 75/0268 ・ ・ ・ ・ ジスルフィドを用いるもの[2016. 01]  
 75/0277 ・ ・ ・ 重合後の処理 (化学的後処理 C08G75/0286) [2016. 01]  
 75/0281 ・ ・ ・ 回収または精製[2016. 01]  
 75/0286 ・ ・ ・ 化学的後処理[2016. 01]  
 75/029 ・ ・ ・ 有機化合物による変性[2016. 01]  
 75/0295 ・ ・ ・ ・ 無機化合物による変性[2016. 01]  
 75/04 ・ ・ メルカプト化合物またはその金属誘導

|        |  |        |  |
|--------|--|--------|--|
|        | 体からの (C08G75/0204 が優先)<br>[2, 2016. 01]                            |        | ロキサン[2]  |
| 75/045 | ・ ・ ・メルカプト化合物と不飽和化合物からの[2016. 01]                                  | 77/382 | ・ ・ ・炭素, 水素, 酸素またはけい素以外の原子を含むもの[5]   |
| 75/06  | ・ ・環状チオエーテルからの[2]  | 77/385 | ・ ・ ・ ・ハロゲンを含むもの[5]  |
| 75/08  | ・ ・ ・チイランからの[2]  | 77/388 | ・ ・ ・ ・窒素を含むもの[5]  |
| 75/10  | ・ ・いおうまたはいおう含有化合物およびアルデヒドまたはケトンからの[2]                              | 77/392 | ・ ・ ・ ・いおうを含むもの[5]   |
| 75/12  | ・ ポリチオエーテルーエーテル (C08G75/0245 が優先) [2, 2016. 01]                    | 77/395 | ・ ・ ・ ・りんを含むもの[5]  |
| 75/14  | ・ ポリスルフィド[2]   | 77/398 | ・ ・ ・ ・ほう素または金属原子を含むもの[5]  |
| 75/16  | ・ ・有機化合物の無機ポリスルフィドとの重縮合によるもの[2]                                    | 77/42  | ・ ポリシロキサン連鎖を含むブロックまたはグラフト重合体 (ポリシロキサンへの脂肪族不飽和単量体の重合 C08F283/12) [2]                                |
| 75/18  | ・ ポリスルホキシド[2]  | 77/44  | ・ ・ポリシロキサン連鎖のみを含むもの[2]   |
| 75/20  | ・ ポリスルホン[2, 2016. 01]  | 77/442 | ・ ・ビニル重合体連鎖を含むもの[5]  |
| 75/205 | ・ ・二酸化いおうと不飽和有機化合物との共重合体[2016. 01]                                 | 77/445 | ・ ・ポリエステル連鎖を含むもの[5]  |
| 75/22  | ・ ・ ・二酸化いおうの不飽和脂肪族化合物との共重合体[2]                                     | 77/448 | ・ ・ポリカーボネート連鎖を含むもの[5]  |
| 75/23  | ・ ・ポリエーテルスルホン[2]   | 77/452 | ・ ・窒素含有連鎖を含むもの[5]  |
| 75/24  | ・ ポリスルホネート[2]  | 77/455 | ・ ・ ・ポリアミド, ポリエステルアミドまたはポリイミド連鎖を含むもの[5]  |
| 75/26  | ・ ポリチオエステル[2]  | 77/458 | ・ ・ ・ポリウレタン連鎖を含むもの[5]  |
| 75/28  | ・ ポリチオカーボネート[2]  | 77/46  | ・ ・ポリエーテル連鎖を含むもの[2]  |
| 75/30  | ・ ポリスルホンアミド; ポリスルホンイミド [2]   | 77/48  | ・ すべてではないが少なくとも 2 個のけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの[2]  |
| 75/32  | ・ ポリチアゾール; ポリチアジアゾール[2]  | 77/50  | ・ ・炭素連結基によるもの[2]   |
| 77/00  | 高分子の主鎖にいおう, 窒素, 酸素または炭素を有したまたは有せずにけい素を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物[2] | 77/52  | ・ ・ ・芳香環を含むもの[2]   |
| 77/02  | ・ ポリシリケート[2]   | 77/54  | ・ ・窒素含有連結基によるもの[2]   |
| 77/04  | ・ ポリシロキサン[2]   | 77/56  | ・ ・ほう素含有連結基によるもの[2]  |
| 77/06  | ・ ・製造法[2]  | 77/58  | ・ ・金属含有連結基によるもの[2]   |
| 77/08  | ・ ・ ・用いられた触媒に特徴のあるもの[2]  | 77/60  | ・ すべてのけい素原子が酸素原子以外の連結基により結合されているもの[2]  |
| 77/10  | ・ ・ ・平衡法[2]  | 77/62  | ・ ・窒素原子[2]   |
| 77/12  | ・ ・水素に結合したけい素を含むもの[2]  | 79/00  | 高分子の主鎖に, けい素, いおう, 窒素, 酸素または炭素を有したまたは有せずに, けい素, いおう, 窒素, 酸素および炭素以外の原子を含む連結基を形成する反応により得られる高分子化合物[2] |
| 77/14  | ・ ・酸素含有基に結合したけい素を含むもの[2]   | 79/02  | ・ りんを含む連結基[2, 2016. 01]  |
| 77/16  | ・ ・ ・水酸基に[2]   | 79/025 | ・ ・ポリホスファゼン[2016. 01]  |
| 77/18  | ・ ・ ・アルコキシまたはアリルオキシ基に[2]   | 79/04  | ・ ・酸素にまたは酸素および炭素に結合したりん[2]   |
| 77/20  | ・ ・不飽和脂肪族基に結合したけい素を含むもの[2]   | 79/06  | ・ ・炭素のみに結合したりん[2]  |
| 77/22  | ・ ・炭素, 水素および酸素以外の原子を含む有機基に結合したけい素を含むもの[2]                          | 79/08  | ・ ・ほう素を含む連結基[2]  |
| 77/24  | ・ ・ ・ハロゲン含有基[2]  | 79/10  | ・ アルミニウムを含む連結基[2]  |
| 77/26  | ・ ・ ・窒素含有基[2]  | 79/12  | ・ すぐ含む連結基[2]   |
| 77/28  | ・ ・ ・いおう含有基[2]   | 79/14  | ・ 炭素, 酸素, 窒素, いおうおよびけい素以外の 2 個またはそれ以上の元素を含む連結基[2]  |
| 77/30  | ・ ・ ・りん含有基[2]  | 81/00  | 単量体の不存在下に重合体を相互に反応することにより得られる高分子化合物, 例. ブロック重合体 (炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応によるもの                          |
| 77/32  | ・ ・重合後の処理[2]   |        |  |
| 77/34  | ・ ・ ・精製[2]   |        |  |
| 77/36  | ・ ・ ・分留[2]   |        |  |
| 77/38  | ・ ・化学的後処理により変性されたポリシ   |        |  |

## C 0 8 G

- C08F299/00) [2]
- 81/02    • 重合体の少くとも 1 種が炭素—炭素不飽和結合のみが関与する反応により得られるもの[2]
- 83/00    グループ C08G2/00-C08G81/00 に分類されない高分子化合物[2]
- 85/00    このサブクラスに属する化合物の一般的製造法[2]

### 発泡体に関し, グループ 18/00 と関連するインデキシング系列[5]

- 101:00    発泡体の製造[5]